



富田牧子のデュオ・レッスン



チェロと二重奏をしてみませんか？

コロナ禍が続き、わいわい仲間と集まって音楽することも難しい日々。チェロとのデュオ作品でチェロパートを先生に弾いていただきながら、アンサンブル力をブラッシュアップしようという贅沢なレッスンを企画しました。

チェロの二重奏はもちろん、ヴァイオリン、ヴィオラ、ギター、木管楽器、チェンバロ、オルガンなどとのデュオ作品。対等なデュオ（ソナタ）だけでなく、チェロがバスパート（伴奏）を担当する作品も歓迎ですし、逆にチェンバロやオルガンで通奏低音を勉強している方には、腕試しの絶好の機会になると思います！ぜひ奮ってご参加下さい。バロックでもモダンでもOK。

楽譜を音にするだけでなく、また、どちらかの演奏に一方向的に合わせるのではなく、お互いの音をよく聴き、反応し、音楽でコミュニケーションするのがアンサンブル。60分という限られた時間で、アンサンブルを楽しみ、形にするため、10分未満の作品をお持ちください。ソナタの1楽章でも構いません。より音楽的なアプローチができるようアドバイスいたします。

日時：11月27日（金）19時／20時

@江戸川橋 **BEATA** オルガン練習室

11月28日（土）11時／12時／13時／14時／15時／16時

@関内 **BELUGA** オルガン練習室

11月29日（日）12時／13時／14時 @江戸川橋 **BEATA**

料金：10,000円／60分（準備・片付け時間を含む）

※レッスン前後に手洗いまたは消毒、レッスン中はマスクの着用をお願いします。

富田牧子よりメッセージ

コロナ禍で音楽愛好家は仲間と室内楽できなくなり、近頃では、オンラインで合わせる、というツールが重宝されているようです。確かに、高齢の家族がいる人や持病のある人、周りに楽器を弾く人がいない人にとっては嬉しいことでしょう。でも、気になるのは、アップされた演奏、あるいはクリック(メトロノーム)に合わせた演奏に合わせる、という一方的なものに慣れてしまうことです。

室内楽はその場で一緒に演奏する人間の、音による対話。演奏技術に違いがあっても、まず人として対等であり、音楽作品のすべてのパートはお互いになくってはならないものであるはず。この人が弾くからこうなる、組み合わせで違う演奏になる、ということは当然ありますし、その場所や、その日の体調や感じ方で、毎回変わるのが本来の在り方なのです。

お互いの音をよく聴き、反応し合い、音楽でコミュニケーションをしながら、本質に向かっていい音楽をすること。デュオレッスンでは、受講してくださる方とまず、その喜びを分かち合いたいと思っています。

講師プロフィール

バロックと現代のスタイルの楽器にガット(羊腸)弦を張り、楽曲に合わせて持ち替えながら、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会でソロと室内楽の研鑽を積む。同学大学院修士課程修了後ハンガリーに留学、バルトーク弦楽四重奏団の L.メズー氏に師事。NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。ソロリサイタルを開催するほか、弦楽四重奏団メンバーとしての活動を経て、様々な楽器との組み合わせによる「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」を続けている。パーカッション奏者コスマス・カピツァ氏とのデュオ《羊とヤギ》でCD「O Terra(大地よ)」を発売。

申込み：①お名前 ②メールアドレス ③電話番号 ④曲名(原語で)
⑤楽器 ⑥希望日時(可能な時間を多めに)を明記のうえ、
11月11日(水)までにご希望の会場にお申込み下さい。

★ **BEATA(ベアータ)オルガン練習室** [江戸川橋駅5分]
beata@ab.auone-net.jp 03(6317)8916

★ **BELUGA(ベルーガ)オルガン練習室** [JR 関内駅3分]
belugaorgan@mbr.nifty.com 045(662)5536